

桐陽祭 Scene Collection



福島県バレーボール選手権大会

男子バレーボール県大会 借取

十一月十四日(土)三春町体育館で行われた福島県バレーボール選手権大会で、三島・只見連合チームは、南2位の中島中を相手に、力一杯プレーしましたが、セットカウント二対二で惜しくも一回戦敗退となりました。県大会の壁の高さを経験したチームが、何を思い、何を考え、冬の間どんな取り組みをしていくのかに期待したいと思います。今から、来春の中体連が楽しみです。

今月の1枚

お母さんたちの桐陽祭

有志発表で3年生5人が歌う「糸」が始まると我が子の姿、そしてその成長を間近で見ようと、がら空きの生徒席へ移ってきたお母さんたち。絆の深さを感じた一コマでした。

10月31日(土)桐陽祭3年生有志発表



感動の桐陽祭



[教育目標]
心豊かな生徒
自ら学ぶ生徒
たくましい生徒

桐の里だより

令和2年11月号
三島町立三島中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://mishima.fcs.ed.jp/>三島中学校

三島中学校 ホームページ
で閲覧したい
ページもご
覧ください。
りておな
だけます。

伝えたい思い 伝わる感動

十月三十一日(土)本校文化祭、桐陽祭を実施しました。コロナ禍で、可能な防止策を講じての実施となりましたが、教育委員会ははじめ、保護者の皆様、そして多くの地域の皆様のご協力のもと、無事実施することができました。感謝申し上げます。

さて、ひとくちにコロナ禍とは言っても、桐陽祭当日まで迫り着くには、子どもたち、そして教職員にとっても、なかなか大変な道のりでした。中でも、3年生は、桐陽祭で発表のメインとなる平和学習において、一番の柱となる沖繩への修学旅行が実施できないという状況に見舞われました。例年四月に修学旅行で沖繩に行き、十月までの間に

平和学習をまとめ、その中で何を中心に伝えるのかを構想し、脚本に起こし、配役台詞を覚え、舞台練習を重ねて当日を迎えます。しかし、今年は、十月に、それも桐陽祭の一週間前という日程に修学旅行が延期になりました。さらに、それだけに留まらず、感染状況の厳しい沖繩への旅行は断念せざるをえず、行き先が定まらなかった。つまり、桐陽祭の一週間前は、全く違う行事に専念するという事態となったのです。それでも3年生は諦めず、修学旅行での取材は断念したものの、別の形で平和学習を模索し、地元三島町在住の戦争を体験した方から、当時の話を伺ったり、奥会津聞き書き百選「じいちゃんありがとう」を読み返したりと、平和にこだわった学習を

始めました。学校でも、八月六日の平和祈念式典に合わせて、平和学習を行うなど、できることは何でも取り入れられました。3年生という立場は、下級生をまとめ、桐陽祭全体の企画・準備・運営も大きな役割として当然持たねばなりません。そんな中、前日ギリギリまで、平和にこだわって伝えようとしたもの、それが彼らの平和への思いです。見ての人も誰もの心を動かす表現となったのは、そんな裏舞台があつたことと考えます。今年、3年生だけでなく、1年生の元気な姿、2年生の見事なストーリーと、それぞれの学年の良さが際立って見応え満載の桐陽祭となりました。それでも、次はやっぱり3年生のような表現を目指す、それが三島中生の伝統です。来年の桐陽祭も今から楽しみです。

